

1 日 時 令和 5 年 5 月 11 日 木曜日

開会 10 時 00 分 閉会 10 時 30 分

2 場 所 京都市総合教育センター 第 3 研修室

3 出席者	教 育 長	稲田 新吾
	委 員	奥野 史子
	委 員	高乗 秀明
	委 員	笹岡 隆甫
	委 員	野口 範子
	委 員	松山 大耕

4 欠席者 なし

5 傍聴者 6 名

6 議事の概要

(1) 開会

10 時 00 分、教育長が開会を宣告。

(2) 前会会議録の承認

第 1489 回京都市教育委員会会議の会議録について、教育長及び全委員の承認が得られた。

(3) 議事の概要

ア 議事

議案 1 件

イ 議決事項

議題 2 号 教科書採択に関わる基本方針及び選定の観点について（小学校・義務教育学校（前期課程））

（事務局説明 近藤 学校指導課長）

令和 6 年から令和 9 年まで小学校・義務教育学校（前期課程）で使用する教科書の採択に関わる基本方針及び選定の観点についての議案を御説明申し上げる。

「基本方針」については、これまでの採択と同じ 5 項目とし、令和 2 年度の中学校採択と同じ内容である。

「選定の観点」案は、教科ごとに定め、項目（1）～（3）は、現行の学習指導要領で

規定される資質・能力や授業改善を示した観点として、各教科を通じて統一性を持たせて設定している。項目（４）（５）については、教科によって１つ又は２つ設定された教科独自の観点で、各教科で児童に身に付けさせたい資質・能力の育成に向け、各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習活動が展開できるような工夫がなされているか記載されている。項目（６）～（８）は各教科を通じて統一性を持たせ、項目（６）は、単元等が系統的、発展的に構成され、児童の学びが段階的に深まるよう工夫されているか、カリキュラム・マネジメントの視点を踏まえ、教科等を横断した学習活動が展開できるような内容の工夫が図られているか、家庭・地域との連携が深まるような工夫や配慮がなされているか、項目（７）は、内容面において人権教育や道徳教育の推進に繋がる工夫がなされているか、項目（８）は、使いやすく、ユニバーサルデザインの観点からも見やすいか、環境面の配慮がなされているかが記載されている。

なお、道徳科については、他教科とは異なり、資質・能力の育成を目標とするものではなく、道徳的な判断力、心情・実践意欲と態度を育成し、道徳性を養うことが目標とされているため、他教科とは構成が異なっている。（１）に学習指導要領の目標に関連すること、（２）～（４）に学習内容や学習活動への工夫・配慮に関連すること、（５）～（７）は学びの広がりや教育課題への対応、見やすさ・使いやすさなどについて記載している。

実際の調査研究に当たっては、「基本方針」及び「選定の観点」に基づき、調査検討を行った内容を教科書ごとにマトリックス形式でまとめ、選定委員会において、より詳細で具体的な「選定の視点」を設定し、その「選定の視点」に基づき、教科書ごとの特徴や他社比較の中での優位性等について、◎○△の表記を用いて分かりやすく提示する資料を作成する予定である。

令和５年度の教科書採択は、新学習指導要領の教育課程実施に伴う教科書採択である。教育長の諮問に応じて教科書選定に必要な調査・審議を行う教科書選定委員会と、具体的な調査研究を行う調査研究部会を設置している。委員については、性別・年齢や経験、行政区などバランスを考慮して選出した外部委員６名、現場教員９３名、指導主事１１名の計１１０名から構成している。また今年度より、公正確保のため「チェックシート」の提出を求め、少しでも不安や疑問がある場合には、個別にヒアリングを実施、選定委員としての適格性をしっかりと見極めていく予定である。

教科書展示会については、法令で設置する「教科書センター」２会場をはじめ、本市独自に開設する９会場の合計１１会場で実施する。開催期間も法定期間（２週間）より長い１か月間を設定し、市内全域で開催することで、幅広く市民に見学・意見を頂戴し、審議の参考とする予定である。

今後の予定としては、本日、基本方針等が議決いただければ、５月２９日に教科書選定委員会を立ち上げ、調査研究部会等での十分な審議を経た答申を勘案し、８月上・中旬頃の教育委員会にて使用教科書を採択いただく予定である。

（委員からの主な意見）

【稲田教育長】 ３月に教科書採択に関する不適切な行為にて、職員の処分があったから初めての採択となるので、厳正に執り行われたい。

【松山委員】 教科書展示会において意見箱を設置し、意見を集めるということだが、強い意見を持つ方からの意見に偏ってくるように思われる。保護者が教科書を見るために図書館に出向くのはハードルが高いと思われる。今回は無理かも

しれないが、オンラインで閲覧するようにできないのか。

【事務局】 著作権の問題などもあるため、可能かどうかすぐに回答できない。今後、確認して検討したい。

【松山委員】 平日に右京中央図書館へ寄った際、利用者がほぼ高齢者であった。幅広い年齢層から意見を求めるのは難しいのではないかと。

【事務局】 特定の意見が集中しやすいこともあるが、過去の展示会ではそれ以外の意見もいただいている。意見の多寡で何かを決めるという訳でもないで、個々の意見の中身を拾い上げていくことになる。

【奥野委員】 こどもみらい館に展示会を行うなど開催場所を工夫すれば、これから就学する子を持つ母親が教科書を手に取る機会が増えるのでは。

【野口委員】 子どもを預けて、親が図書館に見に行くのは難しいが、工夫は可能である。展示期間を延ばすことは良い取組だと思うが、この取組によって展示会に足を運ぶ方は増えているのか。

【事務局】 期間を延ばしたことで、増えていると考えている。

【稲田教育長】 展示会場所を拡張する工夫は、今後も続けていく必要がある。

【高乗委員】 教科書採択には大変な労力がかかるが、学習の基本を支えるものであるのでもっとしっかり取り組んでいただきたい。観点については、古い考え方で捉えようと、「教科書を学ぶ」ことに集中してしまい、教科書学習だけで完結してしまうことがある。各教科書の特性を知りながら、子ども達に何を身に付けさせるか、授業改善を行いながら、教科書を学びの材料としてどのように使いこなしていくかが必要である。観点案を見ている、そのような点が挙げられている。指導の観点と関連付けながら、分析・研究を進めていただきたい。

【事務局】 教科書もかなり工夫されてきており、知識・技能を身に付ける場面やそれらを活用する場面を想定して作られているほか、児童もそのことを意識できるような作りになっているものもある。発展的な学びや探求的な学びが展開しやすいかという点も見していきたい。

【笹岡委員】 ICT 機器の活用について、QR コードは研究の対象外ではあるが、どのように進めるのか。

【事務局】 文部科学省の通達では、研究の対象は紙の教科書が基本とされているが、QR コードに限らず、ICT 機器との親和性については研究してまいる。

【笹岡委員】 展示会の話になるが、参観日等に学校で展示するなどの取組を実施してはどうか。

【事務局】 見本本1セットが膨大な量であるほか、公平性の確保が難しい。

【奥野委員】 外国語の教科書はデジタル教科書と併用されると聞いたが、調査研究ではどのような扱いになるのか。

【事務局】 外国語のデジタル教科書は、研究の対象とすることが可能とされている。

【野口委員】 「理科が将来的に役に立つか」という全国学力調査時のアンケートにおいて、年齢が上がるにつれ数値が下がる結果を見て衝撃を受けた。理科が日常にも役立つものとしての観点も入れてほしい。

【事務局】 教科書の中には、理科の知識が日常生活との関連づける工夫がされているものもある。そういった点も見していきたい。

【笹岡委員】 教科書の重さ（重量）は観点に入らないのか。

【事 務 局】 各社ともおおよそ同じ大きさ・重さである。それも調査の中で確認してまいる。

【稲田教育長】 今回新たに実施した公正確保の取組について、もう一度説明してほしい。

【事 務 局】 新たな取組として、通知文の発送だけでなく、チェックシートを別に作成し、調査委員の教員にチェックして提出していただく。チェック内容を踏まえ、必要に応じて個別にヒアリングを実施する。

【奥野委員】 チェックシートの項目は、具体的にどのようなものか。

【事 務 局】 文部科学省からの通知内容を要約し、箇条書きでチェックできる仕様とした。具体的な内容としては、「教科書発行者から金銭・物品の提供を受ける」や「教科書発行者が自宅を訪れたことがあるか」等が挙げられる。

【稲田教育長】 公正確保に係る通知文の内容をより自分事として考えてもらえるようにした、ということか。

【事 務 局】 そうである。

(議決)

教育長が、「議題 2 号 小学校・義務教育学校（前期課程）使用教科書の採択に関わる基本方針及び選定の観点について」について、各委員「異議なし」を確認、議決。

(4) その他

○教育長から、前会会議以降の主な出来事等について報告

5 月 8 日 5 類感染症への移行後の学校・園における新型コロナウイルス感染症対策について（令和 5 年 5 月 8 日以降）

5 月 8 日、 府内経済団体を訪問（高校生に対する求人拡大・キャリア教育への協力要請）
5 月 12 日

○事務局から当面の日程について説明

(5) 閉会

10 時 30 分、教育長が閉会を宣告。

署 名 教育長